



中区民生委員児童委員だより

ふれあい中区



災害に備える

自分の命は自分で守る!

備えが不十分、又は
備えをしていない方前もって
備えている方こうかい
後悔あんど
安堵

◎ 非常持ち出し袋を準備しましょう(例)



非常食



おくすり手帳



着替え



ライト



現金



モバイルバッテリー



笛



飲料水



常備薬・絆創膏



保険証・貴重品



乾電池



ラジオ



タオル



レインコート



マスク

◎ 広島市防災情報メール

登録用のメールアドレスに空メールを送って事前に登録をしてください。
entry@k-bousai.city.hiroshima.jp



◎ 安否情報の確認 災害用伝言ダイヤル171の利用方法

録音方法	171+1+安否情報を登録する人の番号
再生方法	171+2+安否情報を確認したい人の番号

※災害時のサービスです。※携帯電話もご利用できます。

発行: 中区民生委員児童委員協議会

事務局: 中区大手町四丁目1番1号 中区役所厚生部地域支えあい課内 ☎ 504-2852

災害は忘れた頃にやってくる

昔から言われている言葉ですが、最近では災害は忘れないうちにやってくるようになりました。

こういった状況の中、防災の意識が高まっていますが、自分達の命を自分達で守るためには、どうすれば良いのでしょうか。

まずは情報を手に入れましょう。テレビやラジオはもちろん表紙の「広島市防災情報メール」を登録したり、「わがまち防災マップ」を事前に確認したりしておくこともお勧めします。

次に「非常持ち出し袋」を準備しておく和良好的しょう。食料品や水だけでなく、薬、現金（小銭）や最近だとマスクや携帯電話の充電器もあると安心です。こういった持出品について詳しくは自治体のホームページなどで確認しておきましょう。また緊急連絡先や自分の事を記入したカードも準備しましょう。

三つ目は日頃から近所の方や顔見知りの方との交流を大事にしておきましょう。いざという時に気に掛けてくれる人、支えてくれる人がいる事が身を守る事に繋がります。

広島市は高齢者・障がい者などに「個別避難計画」を事前に調査し避難行動要支援者名簿を作成します。それは地域の避難支援関係者の共通する強力な備えとなります。

しかしながら、状況によっては外に出ない方が良い場合があります。それはすでに災害が発生し、避難する方が危険な場合です。そのような時は建物内の安全な場所（高い所や崖の反対側など）へ避難しましょう。

災害時に正しい判断を行うのは難しい事です。まずは自分の身を守る事を考え、そのために前もって情報の取得、準備などを行っていきましょう。また普段から近所の方とコミュニケーションを取り、お互いに助け合える関係を作っていく、防災の意識を高めていきましょう。大切な命を守るために！



っている4つの部会活動

児童福祉部会施設見学 広島市こども療育センター

6月15日、東区光町のこども療育センターに、児童福祉部会会員42名が参加しました。まだ建物は完成していませんでした。館内の見学は無く、13時半から3階の会議室で、こども療育センター全体のお話や、児童福祉施設の「二葉園」と「愛育園」の組織について、それぞれの園長・副園長さんから詳しく説明をして頂きました。

子どもの心身の発達と、こころの課題について医学的診断、判断により、それぞれの課題の早期発見、早期療育と必要な訓練などの説明を聞き、大切な施設だと思いました。もっと早く建て替えが必要だったと思います。建て替え前とは違い、広くて、部屋も大きく明るくなったように感じました。



高齢者福祉部会施設見学 メリイホスピタル

9月8日、メリイホスピタルを見学しました。サービスパック高齢者住宅のメリイデイズと同じ施設の中に設けられ、総合的に医療・介護のサービスを受けることができます。

今回は主に緩和ケアのお話をお聞きました。緩和ケアとは、疾患の進行度とは関わらず身体的・精神的な苦痛を和らげるためのケアです。この施設の緩和ケアは、

■人とのつながりを通じ共感の輪を拡げる

■その人らしい生き方をチームでサポートする

■からだや心の痛み・不安を緩和することをめざす

■ご家族の心配事なども共に考え支援する

■自宅での生活をサポートなど重点がおかれています。

永遠の命はなく、必ず人生は終末を迎えます。でき得るならば、生きることがこんなにも美しく楽しいものであったのか」と思いながら旅立ちたいと、そう強く重く心に感じた見学会でした。

第71回広島市民生委員 児童委員大会

5月23日、広島文化学園HBGホールにて第71回広島市民生委員児童委員大会が開催されました。

開会の辞に続き、物故者2名への黙祷が捧げられ、その後広島市長表彰18名、広島市民生委員児童委員協議会会長表彰16名が行われ、広島市社会福祉協議会会長より祝辞を承りました。

続いて議事に移り、前回大会の決議事項処理状況報告、児童福祉の充実・高齢者福祉の充実・障がい者の社会参加促進・地域福祉の向上・避難行動要支援者への支援体制の充実という今大会の決議文、活動強化方策9項目の確認を行い、了承されました。

後半は県立広島大学保健福祉学部教授 田中聡子氏による「地域における子ども・子育て支援と民生委員・児童委員の役割について」の講演が行われ、少子化の要因・地域子育ての成功事例、児童虐待の原因・要因とそれに対する取組や対応策といった内容でお話しいただき、有意義な時間となりました。コロナ制限緩和後初の大会となり、非常に活気のある大会となりました。

主任児童委員活動について

主任児童委員とは、児童福祉に關する支援を専門に担当しています。

主な活動として、担当地域の民生委員・児童委員と協力・連携しながら子育てサロンを定期的に開催したり、「こんにちは赤ちゃん訪問事業」を担当したりしています。また、日頃から地域と小中学校との「つなぎ役」を担っており、子育てに課題を抱えるご家庭があれば、関係機関と協力してサポートしています。子育てに関する悩みや心配事などありましたら、お気軽にご相談ください。

第92回全国民生委員 児童委員大会（広島大会）

11月21日22日と広島で、全国民生委員児童委員大会が行われました。

1日目はグリーンアリーナで山陽高校和太鼓部の演奏が始まり、開会挨拶・全県児童連会長による式辞・主催者挨拶・登壇者紹介・代表者5名の全県児童連会長表彰と続いて、信友直子氏による特別講義の後に、全県児童連副会長により力強い大会宣言を行い次の開催地である宮崎県とバトタッチをしました。そして、広島市消防音楽隊による演奏で1日目の式典を終えました。

2日目は、9つの活動交流集会・シンポジウムが行われ、これからの民生委員活動の在り方などについて語り合い、無事に閉会することができました。

この大会の準備にあたり、運営委員・実行委員会に関わって来られた方々、当日のお手伝いをされた方々など、本当に御苦労様でした。

民生委員児童委員が行

生活福祉部会 研修会

5月29日、鑑別所の講師をお招きし、テーマは「少年鑑別所の役割と取組、つなぎ役として民生委員に求められること」で行われました。

鑑別所では、医学・心理学・社会学その他の専門知識に基づいて少年の資質を鑑別し適切な指針を示す目的で実施されます。

少年鑑別所は、全国で52ヶ所あったそうですが44ヶ所に減っているそうです。その理由として少年の少子化、娯楽が増え若者が群れなくなったことが考えられるそうです。

全少年鑑別所の入所者数ですが平成15年は2万3千62人を記録していましたが、18年間で大幅に減少し、4千568人になっています。広島県は中区吉島にあります。

少年法が改正され、成人年齢が令和4年4月に20歳から18歳に引き下げられました。18歳以上20歳未満を特定少年として扱うそうです。

民生委員に求められることは少年に声をかけ、挨拶を行う事が大事だと思いました。



障がい者福祉部会 研修会

6月28日、「障害福祉サービスの相談支援について」のテーマで、広島市が行う障害者相談事業についての講演が開催され、障がい者福祉部会員41名が参加しました。

一口に障がいと言っても障がいの種別・年齢・性別など様々で、支援も多岐多方面に求められます。

相談支援事業には、民間事業者が行う相談支援と、広島市が社会福祉法人等への委託により実施する広島市障害者相談支援事業等があるとの事です。

民間事業者は、障がい者が地域で自立した生活を送るためのサービスの利用等に向けて、相談支援専門員が契約を締結した方にケアマネジメントによる支援を行い、広島市（委託事業者）は障がいの種別を問わないよう相談を行います。今回は、広島市中区障害者相談支援事業所と、広島市中区障害者基幹相談支援センターの方からそれぞれ説明を頂きました。

日頃地域でつながりを持っている民生委員は、気づいた事や相談を受けた事など障がいの者の立場になり、公的機関に正確に繋いでいく、それが自立した日常生活・社会生活を安心して暮らして行ける体制づくりに欠かせない役割だと、改めて考えさせられました。

吉島東地区民生委員児童委員協議会だより



訓練の想定：早朝に震度 6 弱を観測する南海トラフ巨大地震が発生！あなたはどの行動しますか？

吉島東学区

令和
5年度

防災訓練・防災フェア



近年、頻発する豪雨災害や発生確率が高まっている南海トラフ地震などに備えて、地域の防災力向上を図るのを目的として、令和 5 年 11 月 19 日（日）吉島中学校にて防災訓練・防災フェアが開催されました。多くの参加者にご来場いただき、南海トラフ地震への関心の高さを伺わせるフェアでした。



◆防災訓練（吉島中学校体育館）

より多くの方に参加していただくために手話通訳も行われました。

- ・防災講演会
- ・広島港海岸事業報告
- ・避難所保健衛生講座
- ・避難所生活環境体験



避難所の受け入れ体制・生活環境の整備は細かな点まで調整、確認する必要があります。日頃からシュミレーションと準備が大切です。



■避難所受付レイアウト



■洗濯物を干すにも工夫がいります



■段ボールベットがあるとないとは大きな違いがあります



◆防災フェア（吉島中学校グラウンド）

- ・災害伝言サービス
- ・給水車展示・給水訓練
- ・警察車両の展示
- ・VR 体験コーナー・救急救室
- ・消防車の展示、煙体験



普段は間近に見る機会の少ない、警察車両、消防車に触れることができました。子供達の歓声も上がっていました。



■消火器を使った放水体験



■普段は乗れない消防車の運転席に



■間近に見ると警察車両はやはり迫力が違います



◆炊出訓練

（吉島中学校中庭）

少年消防クラブのメンバーによるフリースタイルの試食会が行われました。気温が少し低めだったこともあり、たいへん美味しくいただきました。



（吉島中学校 格技場）



VR 体験コーナーに挑戦！まさに目の前にあるような臨場感に驚きます。こういう体験することにより、防災をより身近なものとしてとらえていただきたいと思います。

